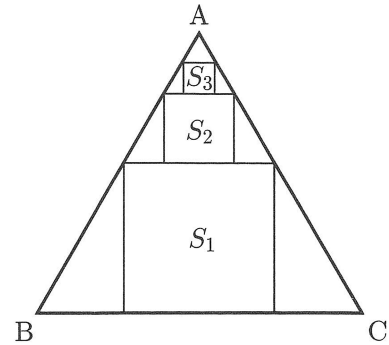


- 1 1辺の長さが1の正三角形ABCに、図のように正方形 S_1, S_2, S_3, \dots を順に内接させるものとする。



- (1) 正方形 S_1 の1辺の長さを求めよ.
- (2) n 番目の正方形 S_n の面積 s_n を求めよ.
- (3) これらの正方形の面積の総和

$$s = s_1 + s_2 + \dots + s_n + \dots$$

を求めよ.

(日本女子大学 2014)

- 2 0でない複素数 α, β が $\alpha^2 + \alpha\beta + \beta^2 = 0$ を満たすとする. 複素数平面上の4点を $O(0), A(\alpha), B(\beta), C(-\beta)$ として、次の問いに答えよ.

- (1) $\frac{\beta}{\alpha}$ を求めよ.
- (2) $\frac{\beta}{\alpha}$ の絶対値 r および偏角 θ を求めよ. ただし、偏角の範囲は $0 \leq \theta < 2\pi$ とする.
- (3) $\triangle ABO$ の3つの角の大きさを求めよ.
- (4) $\triangle ABO$ の面積を S_1 とし、 $\triangle ABC$ の面積を S_2 とすると、 $\frac{S_2}{S_1}$ の値を求めよ.

(徳島大学 2016)

2014年 理学部 第1問

数理
石井

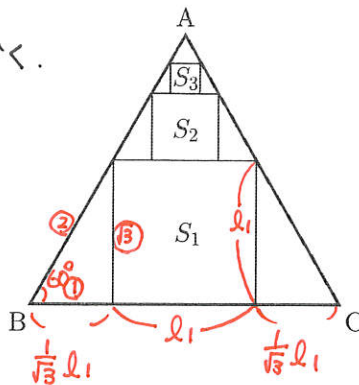
1 1辺の長さが1の正三角形ABCに、図のように正方形 S_1, S_2, S_3, \dots を順に内接させるものとする。

(1) S_n の1辺の長さを l_n とおく。

右図より。

$$l_1 + \frac{2}{\sqrt{3}}l_1 = 1$$

$$\therefore l_1 = 2\sqrt{3} - 3 //$$



(1) 正方形 S_1 の1辺の長さを求めよ。

(2) n 番目の正方形 S_n の面積 s_n を求めよ。

(3) これらの正方形の面積の総和

$$s = s_1 + s_2 + \dots + s_n + \dots$$

を求めよ。

(2) (1)と同様にすると。

$$l_{n+1} + \frac{2}{\sqrt{3}}l_{n+1} = l_n$$

$$\therefore l_{n+1} = (2\sqrt{3} - 3)l_n$$

$\therefore \{l_n\}$ は初項 $2\sqrt{3} - 3$ 、公比 $2\sqrt{3} - 3$ の等比数列となる。 $\therefore l_n = (2\sqrt{3} - 3)^n$

$$\therefore s_n = l_n^2 = (2\sqrt{3} - 3)^{2n} //$$

(3)

$$s = (2\sqrt{3} - 3)^2 + (2\sqrt{3} - 3)^4 + \dots$$

$$0 < 2\sqrt{3} - 3 < 1 \quad \text{より} \quad 0 < (2\sqrt{3} - 3)^2 < 1$$

$$s = \frac{(2\sqrt{3} - 3)^2}{1 - (2\sqrt{3} - 3)^2}$$

$$= \frac{21 - 12\sqrt{3}}{12\sqrt{3} - 20}$$

$$= \frac{3(\sqrt{3} - 1)}{8} //$$



2016年医(保健)・工学部第2問

数理
石井

2 0でない複素数 α, β が $\alpha^2 + \alpha\beta + \beta^2 = 0$ を満たすとする。複素数平面上の4点を $O(0), A(\alpha), B(\beta), C(-\beta)$ として、次の問いに答えよ。

- (1) $\frac{\beta}{\alpha}$ を求めよ。
- (2) $\frac{\beta}{\alpha}$ の絶対値 r および偏角 θ を求めよ。ただし、偏角の範囲は $0 \leq \theta < 2\pi$ とする。
- (3) $\triangle ABO$ の3つの角の大きさを求めよ。
- (4) $\triangle ABO$ の面積を S_1 とし、 $\triangle ABC$ の面積を S_2 とするとき、 $\frac{S_2}{S_1}$ の値を求めよ。

(1) $\alpha^2 + \alpha\beta + \beta^2 = 0$ の両辺を $\alpha^2 (\neq 0)$ で割り、

$$\left(\frac{\beta}{\alpha}\right)^2 + \frac{\beta}{\alpha} + 1 = 0$$

↓ 解の公式

$$\therefore \frac{\beta}{\alpha} = \frac{-1 \pm \sqrt{3}i}{2} \text{ ,,}$$

$$(2) \frac{\beta}{\alpha} = \cos\left(\pm \frac{2}{3}\pi\right) + i \sin\left(\pm \frac{2}{3}\pi\right)$$

$$0 \leq \theta < 2\pi \text{ より, } r = 1, \theta = \frac{2}{3}\pi, \frac{4}{3}\pi \text{ ,,}$$

$$(3) (2) \text{ より, } \beta = \left\{ \cos\left(\pm \frac{2}{3}\pi\right) + i \sin\left(\pm \frac{2}{3}\pi\right) \right\} \alpha \text{ より}$$

右図のいずれかになる。どちらも

$OA = OB, \angle AOB = \frac{2}{3}\pi$ の二等辺三角形であり、

$$\text{3つの角は, } \angle AOB = \frac{2}{3}\pi, \angle OAB = \angle OBA = \frac{\pi}{6} \text{ ,,}$$

$$(4) S_1 = \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot 1 \cdot \sin \frac{2}{3}\pi = \frac{\sqrt{3}}{4}$$

右の図より。

$$S_2 = \frac{1}{2} \cdot 2 \cdot 1 \cdot \sin \frac{\pi}{3} = \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$\therefore \frac{S_2}{S_1} = \frac{\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{4}{\sqrt{3}} = 2 \text{ ,,}$$

